

2021年11月18日

報道各位

沖縄県における軽石の回収に取り組んでいます

ニチモウは沖縄県国頭村の漁港における軽石被害の解消に向けた取り組みを行っております。当社はこの取り組みにおいて、長年にわたり漁業・水産業に携わってきた経験とノウハウにより効率的かつ迅速な対応にむけ、漁業組合や協力各社と連携してまいりました。そしてこの度、軽石回収装置の試験を行い、効率的に回収できることを確認いたしました。

以下、これまでの経緯とこれからの取り組みをご説明いたします。

現在、国頭村の漁港を埋め尽くしている軽石が漁船のエンジントラブルを引き起こすため、出漁が困難な状態にあります。そのため、漁港の軽石を迅速に回収することが、漁業を再開するうえで喫緊の課題となっております。



漁港内の海面に打ち寄せた軽石



軽石の吸い込み

この課題解決に向け、国頭漁業協同組合（村田佳久 代表理事組合長、大城 力 業務課長）、「小型エジェクターを用いた中小漁港の砂除去システムの開発研究会」（株）鳥取クリエイティブ研究所（鳥取県八頭郡八頭町）、（株）吉田組（兵庫県姫路市）、三国屋建設（株）（茨城県神栖市）、（株）吉谷機械製作所（鳥取県鳥取市）のチームと回収試験を開始いたしました。

令和3年11月17日に国頭村周辺の漁港内で回収装置を用いた軽石の回収試験を行い、効率的に回収できることを確認いたしました。



海水と軽石の分離例



海岸（砂浜）に集積した軽石の回収

今後は、国頭漁業協同組合と協力し、軽石がもたらす漁業被害の迅速な解決に向けた回収装置の活用を目指してまいります。また、漁港のみならず海岸やサンゴの棲息海面を覆う軽石の回収も検討しております。さらに、この装置は小型船にも搭載できるため、漁港周辺の洋上に漂う軽石の回収も可能となっております。

今後ともニチモウグループは、『浜から食卓までを網羅し繋ぐ』を合言葉に、ステークホルダーのみなさまの豊かで健康な生活づくりを通じて持続可能な社会の実現に貢献できる企業を目指してまいります。

以上